

因幡環境整備

見学会開き消雪管を洗浄

アイスピック管内洗浄工法

(無料メールで16日配信済み記事)因幡環境整備(国岡稔社長)は13日、アイスピックによる消雪パイプ洗浄工事見学会を開催し、発注官庁の職員らが見守る中、消雪パイプを洗浄した。同工法による消雪パイプの洗浄は、昨年と同社が全国で初めて実施し、新しい工法として注目されている。

アイスピック工法は、イギリ

特殊アイスシャーベットの割合が多いため、管内面の汚れを擦り取る能力に優れ、管内に堆積する砂や石などの夾雑物をシャー

ベツト内に包み込んで運び、管外に運び出すことができる。工法の特長として▽管壁を痛めないため安全性が高い▽伏越部に溜まった夾雑物も管外



夾雑物を含んだシャーベツトを回収するようす



アイスシャーベツトを注入するようす

へ排出することができると▽人体に無害で環境にやさしい▽作業時間が短い▽水の使用量を節約できることなどが挙げられている。

見学会では、鳥取市が発注した浜坂2丁目の消雪パイプ洗浄工事で約250本の消雪パイプの片側からアイスシャーベツトを注入し、もう片側から夾(きょう)雑物を含んだシャーベツトを回収した。

国岡社長は「下水道の管洗浄では、真つすべない管路を洗浄することが課題でした。この工法は流動性があり、様々な環境に対応できるので取り組んでいます。今後も広くPRしていきたい」と話している。

鳥取市の林道2件 災害査定が終わる

復旧額1760万円

9月8日の台風18号豪雨で被災した林道施設の災害査定が12日から2日間の日程で行われ、鳥取市が管理する林道2路線の復旧工事が申請通りほぼ認められた。約1860万円の申請額に対して復旧額は約1760万円。若桜江府

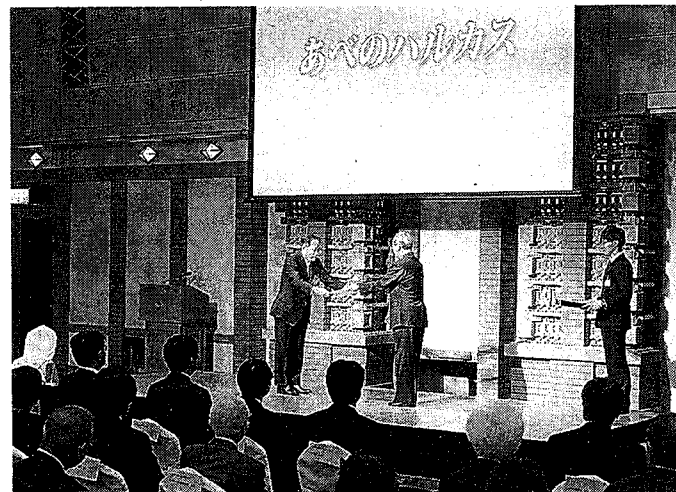
線と安蔵線の2路線2カ所です。若桜江府線は、河原町北村地内で延長29.4にわたり崩壊した路肩、安蔵線は河内地内で延長28.4にわたり崩壊した法面をそれぞれ復旧する。

「あべのハルカス」など14作品を表彰

日建連

日本建設業連合会(日建連、中村満義会長)は16日、東京・内幸町の帝國ホテルで第56回BCS賞の表彰式を開き、「あべのハルカス」など入選作品14件の建築主・設計者・施工者に賞状を贈った。写真。

中村会長は「いずれも建築主の深い思いと設計者、施工者の創造力・技術力が見事に結実した、わが国を代表する建築と呼ぶにふさわしい作品ばかり」



日建連がBCS賞を表彰

「これら建築が未永く多くの皆さまに愛され、施主の皆さまとともにさらに進化していく場となることを願ってやまない」と語った。

また「ROKI Global Innovation Center(ROGIC)」(浜松市天竜区)の受賞に伴い式典に出席したROKIの島田貴也代表取締役社長は、「

建設工業新聞 2015年11月17日(火) 第1760号 1760円(税別) 発行所: 東京都千代田区千代田1-1-1 建設工業新聞社